

高齢者の生涯学習の意義 ー 私達のこれからの学びと地域活動ー	令和 2年 6月13日(土)
	オンライン：動画配信

はじめに

・兵庫教育大学教職大学院
ゲストティーチャー（元教授）
[学校経営・危機管理・社会教育・生涯学習]
・(公財)兵庫県生きがい創造協会
理事、生涯学習アドバイザー 廣岡 徹

- ・「コロナ禍」と高齢者の学び
- ・「人生100年時代」の高齢者の学び
『The 100 - Year Life』(ロンドン・ビジネススクール教授 リンダ・クラットン、アンドリュー・スコット)
「2007年(平成19年)生まれの子ども50%は107歳まで生きる」
『LIFE SHIFT』(東洋経済新報社)
- ・「2025問題」とは？
団塊世代が75歳以上にー人口の30%が高齢者
高齢者対応における財政上の圧迫ー介護費・社会福祉費の増大

1 日本の高齢化の課題ー学びへの障碍

(1) 個人的要素

- ① 地域や家族との関係
孤独・孤立化ー老々介護
- ② 生活費の圧縮
年金の削減、介護保険負担
- ③ 体の衰え・活動意欲の低下
- ④ 認知症や老耄の進行

学習(活動)に足る健康・体調
学習(活動)に足る経済力
学習(活動)しようという意欲・意思

(2) 社会的要因

- ① 地縁関係の希薄化
- ② 相互扶助の衰退
- ③ 公的支援の制約ー地方自治体の限界

学習(活動)するための場・仲間
学習(活動)に至るきっかけ
学習(活動)への社会的支援

(3) 高齢者の学習を推進する要因

- ① 充実した老後ための高齢者の健康管理と生きがいづくり
- ② 孤立を防ぐための人間関係のネットワークの構築
- ③ 高齢者医療・介護制度の整備
- ④ リタイア後の活躍の場の拡大
- ⑤ 都市部・近郊区でのコミュニティー活動の活発化
- ⑥ 地方における人口減少によるコミュニティーの再構築
- ⑦ 高齢者支援の一角を形成する若い世代の増加

ピラミッド型人口の時代の
社会システムの見直し